代表理事挨拶

代表理事 加賀谷 肇
明治薬科大学臨床薬剤学教室　教授

2015 年6 月8 日に開催された新執行部理事会におきまして、代表理事として推挙されました加賀谷肇です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表理事として３期目を迎え、副代表理事には成田　年理事を指名させていただきました。本学会創立時（2007年3月）からの基本理念である緩和医療における薬（保険薬局）・薬（病院）・学（大学）の連携による社会貢献を念頭に、緩和医療の充実に向けさらに精進して参ります。

本学会は、2015年6月現在3500 名を超える規模となり、今年は第９回学術大会（2015年10月2～4日パシフィコ横浜）が加藤裕久年会長のもと準備され、第10回年会からは従来の10月開催から6月開催に変更となり2016年6月3～5日アクトシティー浜松にて塩川　満年会長のもと開催予定です。

緩和薬物療法認定薬剤師は、これまで6回の認定試験を実施し500余名の認定薬剤師を輩出し、それぞれが各地で活躍しております。

今期から社員（評議員）による理事の選挙制度が導入されました。代表理事、副代表理事を含め15名の理事、および理事会推薦理事3名が社員総会で承認され現執行部がスタートしました。

学会設立以来、緩和医療に果たす薬学領域の創意は、医師、看護師をはじめ他職種にかなり浸透してきているものと確信しております。

私が代表理事に立候補させて頂いたのは、これまで本学会の礎を築かれた多くの理事の先生方がご定年を迎えられ勇退され、次世代を担う理事、評議員の方々にバトンを渡す役割と新たな学会の方向性を示す必要性を感じたためです。

本学会の教育研修制度のさらなる充実、緩和薬物療法専門薬剤師制度の確立、薬学コアカリに緩和ケアが明記されたことでの卒前教育の均てん化、研究の推進、在宅緩和医療・地域緩和医療に貢献できる薬剤師の養成等を活動方針の柱とし、これまでの薬剤師人生の集大成として皆様のお力添えのもと心血を注ぎたいと思っております。

また、本学会のさらなる発展および社会性の拡大のために広報活動にも各委員会が一丸となって努力する所存です。

緩和医療は多職種からなるチームで実践されます。緩和医療チームの一員として役割を担える薬剤師の養成と薬物治療や症状管理の向上に寄与できる研究・教育・啓発活動を通して、本学会ががんの痛みで苦しむ患者さんやそのご家族、一般市民のみなさまの一助となれますように努めます。

よろしくお願い申し上げます。

2015年8月吉日